

9月1日は「防災の日」です

「防災の日」は、大正12年(1923年)9月1日に発生した関東大震災や昭和34年(1959年)9月に襲来した伊勢湾台風などをきっかけに、防災対策の重要性を広く国民に理解してもらうため、昭和35年の閣議によって制定されました。

自然災害を無くすことはできませんが、日頃からの備えにより減災することは可能です。「防災の日」を機会に、今一度考えてみませんか？

● 災害用品・非常食・飲料水などの準備。

※ 高齢者の備え

(常用薬・お薬手帳・老眼鏡など)

※ 幼児の備え

(ミルク・離乳食・おむつなど)



● 「津波避難場所」

● 「津波避難ビル」

● 「ハザードマップ」の確認。

津波注意



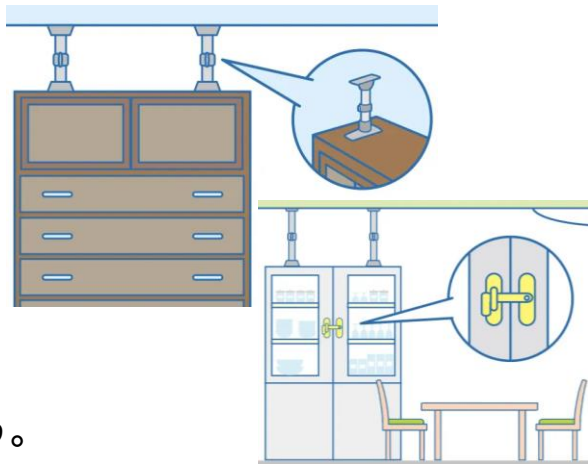
津波避難場所



津波避難ビル



● タンスや食器棚などの固定。



本紙でご紹介した内容は、ほんの一例です。
他にもいろいろな方法がありますので、
ご自身に合った防災対策を始めてみましょう。

イラスト出典: 政府広報オンライン「災害時に命を守る一人ひとりの防災対策」

防災気象情報は、テレビ・ラジオ・以下のHPまたは電話番号から

石垣島地方気象台ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/>

※ ホームページは、スマートフォン対応済みです。

電話番号：098-975-5771



気象庁マスコット
はれるん